JA横浜　SDGs達成に向けた取り組み

JA横浜が掲げる「人と自然を大切にし、社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献する」という理念は、
SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」と共通するものです。
当JAの行う各事業はSDGsの目標と親和性が高く、ともにめざす社会・未来は同じです。
当JAは農業協同組合として各事業を展開し、SDGsの達成に向けて取り組みます。

●ＳＤＧｓとは
「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能で、よりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。
〔外務省ホームページより〕

ＪＡ横浜は「食」と「農」を基軸とする協同組合です。

JA 横浜は、事業活動を通じて安全・安心、新鮮な農畜産物を提供することを使命としています。農業は消費者の皆さまへ提供する食料などの生産を通じ、地域の経済や社会を豊かにするとともに、地域の環境や景観の保全に寄与するなど、食と農と水を守る多面的な役割を果たしています。私たちは、「食」と「農」を基軸とする地域に根ざした協同組合として、SDGs の達成をめざします。

～「食」と「農」にかかわるＳＤＧｓ施策の一例のご紹介～

■持続可能な農業へ、「GLOBALG.A.P.」認証の取得

ＧＡＰとは農業において、食品安全・環境保全・労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。当ＪＡでは、国際的な認証基準である「GLOBALG.A.P.」の認証も取得しています。

「GLOBAL G.A.P.」認証を取得

■企業連携によるＪＡ横浜オリジナル商品

規格外品など、食べることはできるのに出荷することができない農産物の有効活用策として、横浜の企業と連携してＪＡ横浜オリジナル商品を研究・開発しています。

「横濱ハーバー『幻の浜なし』」

「幻の浜なしナボナロングライフ」の限定販売

「神奈川６種の彩りハーバー」
「幻の浜なしパウンドケーキ」

■作目別部会の活動

当 JA には、作目別部会が設置されており、部会員は横浜農業の担い手と活躍しています。作目別部会では、ＳＤＧｓに関わる多くの活動に取り組んでいます。

花卉部　横浜市庁舎での「第 49 回横浜花き展覧会」

花卉部　JA 横浜本店でのフラワーディスプレイ

植木部　横浜市と連携した「人生記念樹配布事業」

野菜部　医療従事者への寄贈

■産学連携による横浜野菜のメニュー開発

横浜市内の専門学校と連携した横浜野菜のメニュー開発や販売等、産学連携を意識した取り組みを行っています。

「横浜スイーツ＆カフェ専門学校」の学生によるメニュー開発

小松菜とサツマイモの定植 レシピ作成のヒントに

■都市と産地の連携により、農業の振興を支える出張販売

企業や官公庁、集合住宅等への出張販売などを通じて、横浜産の農畜産物の美味しさを広くお伝えしています。

横浜市庁舎での出張販売

サンヴァリエ日吉での出張販売

無印良品 港南台バーズでの出張販売

ＪＡ横浜　ハマッ子マルシェ（移動販売車）

出張販売で「屋外水耕栽培」のレタスを販売しました。「屋外水耕栽培」は液肥を使わない簡易な屋外型の水耕栽培で、きた総合センターに隣接する圃場で実証実験を行っています。労働負担が少ないため、水耕栽培セットを組合員に使用してもらえるよう研究を続けます。

「屋外水耕栽培」のレタス

■企業等と連携した横浜産農産物の新しい販売・提案方法

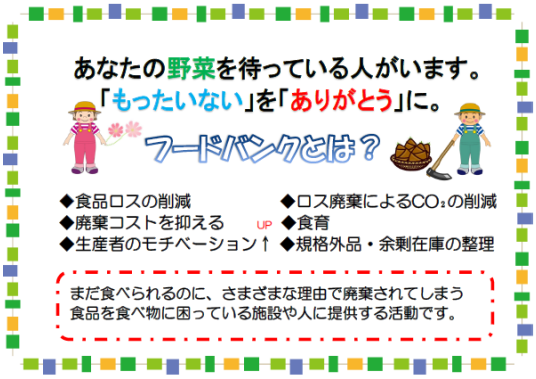
デリバリーファーム事業として、プランターを利用した出張収穫体験等を実施しています。

ネッツトヨタ神奈川㈱の販売店でいちご狩り体験

■フードバンクへの取り組み

フードバンクは、十分安全であるにもかかわらず廃棄されてしまう食料の寄贈を受け、支援を必要としている方々へ食料を提供する取り組みです。当ＪＡ女性部では「フードバンクかながわ」に協賛しています。また、当ＪＡのフードバンク事業は、「ハマッ子」直売所みなみ店に出荷している組合員の協力を得て、「地域コミュニティ」に野菜を寄贈しています。

女性部による「フードバンクかながわ」への物資贈呈



「ＪＡ横浜のフードバンク事業」

■ふるさと納税返礼品への登録

横浜産農畜産物のＰＲとして、横浜市のふるさと納税返礼品に登録しています。

返礼品の一例

■Ｕターン・新規農業後継者講座の開催

新規就農者や定年退職などに伴うＵターン就農者を対象に、農業生産にかかる基礎的な知識と技術の習得を目的とした「Ｕターン・新規農業後継者講座」を開催しています。

Ｕターン・新規農業後継者講座の開催

■営農インストラクターによる訪問活動

当ＪＡでは、担い手の所得向上に向け、営農インストラクターによる担い手訪問活動を強化し、担い手ニーズの把握、情報提供および様々な提案・営農相談活動を行っています。

営農インストラクターによる訪問活動・栽培提案

■食農教育に関する取り組み

「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食育」に加え、「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ教育を、食農教育といいます。当 JA では、様々な人と連携しながら、食農教育に取り組んでいます。

ＪＡ横浜「あぐり塾」での収穫体験

横浜市が行う「地産地消」への取り組みを支援

神奈川新聞社と連携したイベントの開催

「親子で横浜野菜を学ぼう」

管内小学校での稲作栽培指導

ＪＡ横浜は、かながわＳＤＧｓパートナーに登録しています。